

特集 みんなが活躍できる社会づくり 生涯学習社会の実現



01 健康で心豊かに過ごせる社会づくり

きのくに県民カレッジ



きのくに学習メニューブック

県では、学びたいという思いをもった人を支援する「きのくに県民カレッジ」を開講しています。県内に在住か、通勤・通学している人であれば誰でも参加できます。

『きのくに学習メニューブック』(年2回発行)に記載されている様々な講座の中から自由に選択して受講します。

1時間の受講で1単位が取得でき、一定の単位数を取得した人には認定証を発行しています。認定証は、ブロンズマスター(100単位)、シルバーマスター(200単位)、ゴールドマスター(300単位)、生涯学習士(500単位)があり、合わせて665名が取得しています。



講座の様子

認定証授与式の様子

きのくに県民カレッジ [検索](#)

総合型地域スポーツクラブ

「総合型地域スポーツクラブ」は、地域住民が主体となり自ら運営、管理を行う仕組みのクラブです。公共施設や学校施設を活用し、地域住民がスポーツを「する」人として、またスポーツを「支える」人として関わることで、会員同士がつながり、地域の交流を広げていく活動を行っています。

平成9年から始まったこのスポーツクラブも少しずつ地域に根付き、現在県内の25の市町に40のクラブと16の創設準備中のクラブがあります。

陸上競技やサッカーなどの競技スポーツはもちろんのこと、幼児向けの運動教室や、高齢者向けの健康体操教室など、様々な年代に合わせた教室や親子で一緒に参加する教室など、ニーズに合わせた教室が開催されています。また、地域でマラソン大会やスポーツイベントを主催しているクラブもあります。



教室での活動の様子

読書活動の推進

読書活動は、子供たちが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。本県においても、子供たちが本に触れる様々な機会を提供することによって、読書活動の推進に取り組んでいます。

12月11日(日)には、「平成28年度中高生読書まつり〜ビブリオバトル和歌山大会決勝戦及びPOPコンクール表彰式〜」を県立図書館で開催しました。中でも、ビブリオバトル和歌山大会決勝戦では、県内の地域大会等で選出された中高生16名が、それぞれ自分のオススメの本を制限時間5分間で紹介し、質疑応答の際には、やりとりに笑いの起きる場面もあるなど、たいへん盛り上がりました。

この決勝戦で紹介された本やPOPコンクールの入賞・佳作作品は、県立紀南図書館で3月末まで展示していますので、ぜひご覧ください。



02 子供が心豊かにたくましく育つ環境づくり



訪問型家庭教育支援

保護者がより身近に子育てについて相談できる体制を各地域で整備しています。地域の子育て経験者や民生委員・児童委員など身近な人たちで「家庭教育支援チーム」を構成し、訪問型の家庭教育支援を行っています。



「ほっとほーむ」での会議の様子

那智勝浦町では、今年度、訪問型家庭教育支援を行う家庭教育応援チーム「ほっとほーむ」が誕生しました。子供の成長を願い、保護者の「困り感」「疲労感」「閉塞感」等について共に考え、悩んだりすることが基本姿勢です。

このチームのシンボルマークでもあるツツジの花言葉のように「節度」と「わきまえ」を忘れず、少しでも前を向けるようなエネルギーを一緒につくっていくことを大切にしています。

子どもの居場所づくり

放課後や長期休業中、子供の安全・安心な居場所の一つとして、公民館や学校の空き教室を活用し、宿題やプリントによる学習支援や、読み聞かせなどによる大人との交流活動を行っています。今年度、県内では23の市町において59か所で開催されています。



日高川町

「子ども未来塾」

日高川町では、「子ども未来塾」と名付け、5つの小学校(川辺西・和佐・江川・山野・寒川第一)の空き教室で週2回実施しています。児童は、それぞれの生活スタイルに合わせて、参加日や滞在時間を決めて参加しています。

児童からは「未来塾で友達と一緒に漢字を覚えるのが楽しい」、保護者からは「家でも勉強に取り組む姿勢が出てきた」などの感想が寄せられています。



03 人権尊重社会の実現

地域における人権教育

県では、地域における人権教育の推進役(ファシリテーター)を養成し、ネットワークを構築するために、「人権学習ファシリテート活動実践講座」を開催しています。参加体験型の学習や地域の実践を持ち寄り協議を行うことにより、参加者のファシリテーターとしての実践力の向上を図っています。

本年度の実践講座には、約50名が参加し、「虐待について」や「あつていいちがひ、あつてはならないちがひ」などについて理解を深め、その後の地域での活動にいかしていただいています。



実践講座の様子



人権学習パンフレット

人権学習教材「人権学習パンフレット」を作成し、県内すべての国公立の小学校と特別支援学校小学部の保護者に配付し、保護者学級や地域の研修会等での活用を通じて、人権意識の高揚に努めています。

本年度は、『自分らしくありたい!〜男女共同参画の視点から〜』を配付しました。個人としての尊厳が大切にされ、性別を問わず誰もが一人の人間として能力を発揮できる社会の実現をめざすため、学校や地域など様々な人権学習の場で活用していただいています。